

平成19年度グループ対抗里山デジカメ選手権入選作品一覧

◎最優秀賞(林野庁長官賞)

- ◆「小さな命」 広島県立庄原格致高等学校（広島県庄原市）
池上友理 羽村矩美子 寺岡沙織

◎優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)

【学校関係部門】

- ◆「小さな自然」 暮らしの学校いだらぼっちNature（長野県泰阜村）
藤森洸詠 松木研 里見熙甫
- ◆「鞍馬のかわいい花や生き物」鞍馬自然環境守ルンジャー（京都府京都市）
山本知沙 三浦彩葉 西村紗奈

【一般部門】

- ◆「ボクたちの宝探し」 わんぱく隊（和歌山県田辺市）
赤木利衣 赤木航輔 赤木涼介
- ◆「森の巨人」 親子三世代（和歌山県田辺市）
伊藤千津子 木村裕子 木村知美
- ◆「森に思う 共生（あそぶ）共生（のぼる）共生（もり）」
やまさき老人大学カメラクラブ（兵庫県宍粟市）
春名俊夫、千本忠治、山国豊

【森林ボランティア部門】

- ◆「カワウの棲みつかない森づくり（地拵え）」
NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ（滋賀県大津市）
磯部彰 磯部春美 井上宣美
- ◆「親父・再生」 NPO法人グリーンウッドチーム（長野県泰阜村）
片山健太 佐藤陽平 斉藤新
- ◆「作業風景」 京都森林作業体験セミナー（京都府京都市）
松本茂 新井明裕 水口征親
（左からタイトル名、グループ名、住所、下段に氏名を記載）

総 評

◎ 今森光彦氏（写真家）

本日、皆さんの写真について説明をお聞きして、写真を通して皆さんの森に対する想いや生き物に対する愛情がすごく伝わり、すごくいいなと思いました。

ぼくは、写真の審査を多く受け持っていますが、こんな難しい審査は初めてでした。

でも写真だけではなく、メッセージ性があるかどうか重要な審査の要素となっていて、それが写真の背後にあるということを考えると、とてもおもしろく、すごく魅力的なコンテストという気がします。

また、ご年輩の方、企業の方、NPOの方から小学校の低学年の子どもたちまで全てが平等に扱われるという、个性的で珍しいコンテストですし、説明を聞けば中身を見ているような気持ちで嬉しくなります。

林野庁長官賞をとられた作品ですが、審査員三人とも高得点により決定をいたしました。この写真が優れていたのは、表現力という写真の特質をうまく引き出しているところです。もちろん、本日説明していただいた全員の皆さんが、森への愛情があり、そのレベルにおいては全然変わりませんし、それはメッセージの言葉からひしひしと伝わってきますが、写真というのは、言葉にならない表現力というのを持っています。それをうまく引き出しているところが着眼点です。

また、三枚の組写真というのがミソで、これも表現が難しいことですが、それぞれがお互いのメッセージを与えて、三枚全てを見たときにきちんとしたメッセージが放たれているかどうかということです。長官賞に選出された作品は、特に愛情や森に関わっている喜びといったことが、よく映像として出ています。また、メッセージで説明された言葉以上になっていると思います。

◎ 青山佳世氏（フリーアナウンサー）

私もいろいろなフォトコンテストの審査にかかわることがありますが、大抵は撮った写真を見るだけで、撮影者の顔が見えないことから、客観的に写真を撮った想いを判断して、良否を審査してきました。

ところが、今回の里山デジカメ選手権では、本当に撮った方のお顔が見えて、しかもその方が森に対してどんな想いでいらっしゃるのか、どんな想いで活動していらっしゃるのかというのを見てしまったものですから、思わず情が移ってしまいまして、採点をするのにも迷ってしまいました。

今回はそういった想いや活動、それからプレゼンテーションの仕方と合わせて、写真の選手権でありますので、中には記録的な写真の撮り方もありましたが、写真としての作品がどれだけ素敵なのかという視点で点数をつけることにしました。

しかし、私としては、大人の方から子どもの方まで全ての方たちが、それぞれの立場で森のことを一生懸命感じながら、その自然の恵みをいっぱい受けながら写真を撮ったということで、とても素敵だなと思いました。

このような皆さんの活動を知ることができて、とてもこの選手権は私にとっても勉強になった瞬間だと思いました。これからも森を愛して活動を続け、写真を撮ってください。

◎ 最優秀賞(林野庁長官賞)

「小さな命」

広島県立庄原格致高等学校

池上友理 羽村矩美子 寺岡沙織



メッセージ

私たちは緑豊かな山々に囲まれて暮らしています。身近な森に入ると普段では見られないような風景に会うことがあります。可憐に咲く野の花、沢山の虫の声、これらは自然のなくなりつつある都会では見ることの出来ないものであり、そう思うと同時に、身近な森林にも、こんなに沢山の生き物がいたのかと驚きました。

最近地球規模での問題の一つに、環境問題があります。一口に環境問題と言ってもその内訳は、大気汚染や水質汚染、環境破壊とさまざまに分かれています。そしてそのすべてが人間によって作り出された物であり、自然に発生した物ではありません。そして、その問題を解決できるのも人間です。人間が作り出した問題だからこそ人間が解決しなければならないのです。そう思いながら写真を撮っていると、小川を流れるきれいな水、澄んだ空気、沢山の生き物を育ててきた土壌、これらすべての源は森林だということに気づきました。そしてそれらを守るのはこれからの未来を担っていく私達です。

この撮影を通して、森林を今まで以上に身近に感じ、その大切さをもっと多くの人に知って貰えればと思います。

◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)【学校関係部門】

「小さな自然」

暮らしの学校いだらぼっちNature (長野県泰阜村)
藤森洸詠 松木研 里見熙甫



「鞍馬のかわいい花や生き物」

鞍馬自然環境守ルンジャー (京都府京都市)
山本知沙 三浦彩葉 西村紗奈



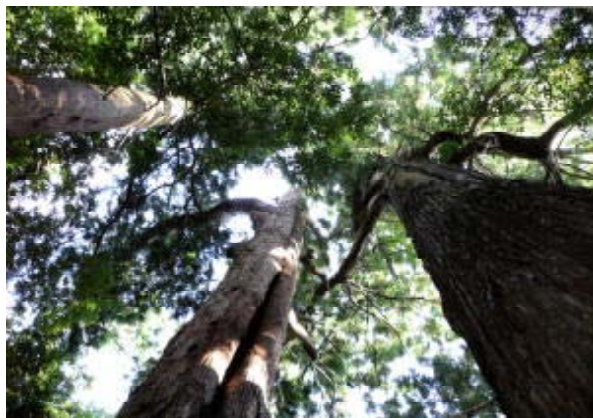
◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)

「ボクたちの宝探し」
わんぱく隊(和歌山県田辺市)
赤木利衣 赤木航輔 赤木涼介



【一般部門】

「森の巨人」
親子三世代(和歌山県田辺市)
伊藤千津子 木村裕子 木村知美



◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)

【一般部門】

「森に思う 共生(あそぶ)共生(のぼる)共生(もり)」

やまさき老人大学カメラクラブ(兵庫県宍粟市)

春名俊夫 千本忠治 山国豊



【森林ボランティア部門】

「カワウの棲みつかない森づくり(地拵え)」

NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ(滋賀県大津市)

磯部彰 磯部春美 井上宣美



◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)

「親父・再生」

NPO法人グリーンウッドチーム(長野県泰阜村)
片山健太 佐藤陽平 斉藤新



【森林ボランティア部門】

「作業風景」

京都森林作業体験セミナー(京都府京都市)
松本茂 新井明裕 水口征親

